

静岡労働局発表  
令和2年4月27日

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 担<br>当 | 静岡労働局                        |
|        | 労働基準部 健康安全課                  |
|        | 課長 竹山 直司                     |
|        | 課長補佐 町田 真<br>電話 054-254-6314 |

## 転倒災害防止キャンペーン 「静岡労働局ぬかづけ運動」を引き続き実施します！

静岡労働局（局長 <sup>たに</sup>谷 <sup>なおき</sup>直樹）管内では、転倒による労働災害の増加が継続しており、平成30年では休業4日以上災害の22.7%を占めていたものが、平成31（令和元）年においては4,454件発生した休業4日以上災害のうち1,049件（23.5%）となりました。

転倒災害の要因としては、職場環境が危険な状態で放置されていたり、不安定な状態で荷物を運ぶなどの不安全な行動であったり、高齢化に伴う運動機能の低下によるものなど、様々です。

このうち、職場環境が危険な状態となっていないかどうか再確認していただくきっかけとして昨年度より展開している「静岡労働局ぬかづけ運動」を本年度も継続して実施することとしました。

この「ぬかづけ」は

「ぬ」→濡れた場所（で滑る）

「か」→階段、段差（で踏み外す）

「づけ」→かたづけられていないところ（でつまづく）

という転倒リスクの高い場所を表現したものです※。

静岡労働局では、各種団体とも連携を図りながら広くこの運動を推進し、転倒災害の発生防止の機運を引き続き醸成して行くこととしています。

※ 転倒リスクの高い箇所をわかりやすく「ぬかづけ」と主唱されたのは「日本転倒予防学会」（理事長 武藤芳照）です。

職場の安全対策を！

静岡労働局  
**STOP!** 転倒災害  
プロジェクト

# 「静岡労働局ぬかづけ運動」実施中！

静岡労働局管内では、平成 21 年から連続して「事故の型」ワーストワンとなっている転倒災害。平成 30 年には高齢者を中心とした休業4 日以上災害が 1,000 件を超え、全災害の 20%以上となりました。

静岡労働局ではこの災害を少しでも減らすきっかけとなれば、との願いを込めて「**静岡労働局ぬかづけ\***運動」を平成 31 年から展開しています。各企業様におかれましても、「人間は転ぶ」ことを前提に、職場の設備や装備の見直し、従業員への安全衛生教育を積極的に進めてください。

こんな場所では特に**転倒**に気を付けよう！

**ぬ**れた場所  
すべる



床の水たまりなどを放置していませんか？



足元を確認しながら通行していますか？

**か**いだん  
踏み外す



身の回りの整理整頓をしていますか？

かた **づけ**  
つまづく

裏面のチェックリストで職場の状況を再確認しましょう！

## あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう

- 身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか  
【**通路や階段に物を置かない**】  
⇒ 整理整頓をし、安全通路を確保しましょう。
- 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか  
【**床面の滑り防止対策**】  
⇒ こまめに床面の水や油等をふき取るほか、可能であれば床面を滑りにくい材質に変更しましょう。
- 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか  
【**危険の「見える化」**】  
⇒ 目立つ場所に注意ステッカーを貼るなどして、危険箇所を全員で共有しましょう。ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し周知するのも良い方法です。
- 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか  
【**照度の確保**】  
⇒ 通路・廊下の照明は明るくしましょう。具体的には、通路や廊下は100ルクス以上、階段は150ルクス以上を確保しましょう。
- 職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか  
【**床面の凹凸をなくす**】  
⇒ 転倒の可能性が高い場所から順番に、床面の補修や階段の滑り止めテープ貼付などの対策をしましょう。
- 荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか
- ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか  
【**不安全行動の防止対策**】  
⇒ 「荷物等の運搬時は足元が見える方法で行う」「大きな荷物は階段を使わず台車を使用」「携帯電話を使いながら歩行禁止」などのルールを決め、全員で共有しましょう。
- 作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか  
【**履物対策**】  
⇒ 滑りにくい靴底の履物を使用しましょう。
- ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか  
【**転びにくいからだづくり**】  
⇒ 身体機能の維持・向上を図りましょう。

### 参考

転倒災害防止の参考となるインターネットサイトのご案内です。

○厚生労働省「職場の安全サイト:STOP! 転倒災害プロジェクト」  
<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>

○中央労働災害防止協会「STOP! 転倒災害プロジェクト」  
<https://www.jisha.or.jp/campaign/tentou/index.html>

○日本転倒予防学会 <http://www.tentouyobou.jp/>



まずは、すぐに行えることから、みんなで始めてみましょう。

STOP! 転倒

検索

※ 転倒リスクの高い箇所をわかりやすく「ぬかづけ」と主唱したのは、「日本転倒予防学会」(理事長 武藤芳照)です。

静岡労働局 労働基準部 健康安全課  
静岡市葵区追手町 9-50 静岡地方合同庁舎 3階 Tel. 054-254-6314

「建設現場も働き方改革@静岡～建設業界も注文者もみんなで応援～」  
建設業の働き方改革推進のためのロゴマークデザイン

<愛称「ふじ丸（ふじまる）」>



建設現場も働き方改革@静岡

<コメント>

富士山を擬人化し、笑顔で元気よく建設現場で働く姿を表現しました。

またキャラクター化する事で、広く県民の皆さんに親しみを持ってもらい県民みんなで働き方改革のひろがり、応援する事を表現しました。

作者 あまのほづみ  
天野穂積 氏（静岡市）



<ロゴマークのデザインの募集について>

現在、働き方改革に向けた取組があらゆる業界で広がりをみせています。

静岡県内の建設業界でも「建設現場で働く方を週休2日にする」「働きやすいきれいな現場にする」など、様々な取組が進められているところですが、こうした取組には、現場で働く方のみならず、注文者など、県内の企業や県民の方の理解と応援が欠かせません。

先般、静岡県建設業関係労働時間適正化推進協議会（事務局：静岡労働局）において、県民の方に建設現場などで働き方改革に積極的に取り組んでいることをご理解いただき、県民が一丸となって建設業界の働き方改革の取組を応援することをイメージしたロゴマークのデザインを募集しました。

そして、ご応募いただいたロゴマークのデザインの中から、最優秀作品（採用作品）を決定しました。

- (\*) 静岡県建設業関係労働時間適正化推進協議会（事務局：静岡労働局）は、建設業界の労働時間適正化に取り組むことを目的に、一般社団法人静岡県建設業協会、一般社団法人静岡県経営者協会、静岡県中小企業団体中央会、一般社団法人静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、一般社団法人静岡県建設産業団体連合会、静岡県交通基盤部、中部地方整備局、静岡労働局労働基準部で構成される協議会です。